

平成 23 年度

事 業 報 告 書

自 2011 年 4 月 1 日 至 2012 年 3 月 31 日



財団法人 札幌市青少年女性活動協会

目 次

I. 一般概要	1
II. 事業報告	2
1. 事業実施状況	
2. 施設管理運営	
3. 各課（各施設）事業実施報告	
1) 企画事業課（指導事業：自主事業・受託事業）	3
2) 企画事業課（指定管理事業：若者支援施設 5 館）	6
3) こども育成課（指定管理事業：児童会館 104 館）	8
(受託事業：ミニ児童会館 70 館)	
4) 野外活動課（指導事業：野外活動事業）	11
(自主運営施設：滝野自然学園)	
5) 野外活動課（指定管理事業：青少年山の家）	13
6) 野外活動課（指定管理事業：定山渓自然の村）	15
7) 野外活動課（指定管理事業：北方自然教育園）	17
8) 市民活動課（指定管理事業：札幌エルプラザ公共 4 施設）	18
9) 市民活動課（受託事業：市民活動プラザ星園）	22
10) こども劇場課（指定管理事業：やまびこ座・こぐま座）	23
4. 契約に関する事項	26
5. こども基金（スマイルキッズ）協力者一覧	
III. 事務報告	27
1. 設立年月日	
2. 寄附行為に定める目的	
3. 寄附行為に定める事業内容	
4. 所管官庁に関する事項	
5. 主たる事務所の状況	
6. 役員等に関する事項	
1) 理事会	
2) 評議員会	
7. 職員に関する事項（事務局組織図）	29
1) 主要な職員	
2) 職員数	
8. 会計に関する事項	31

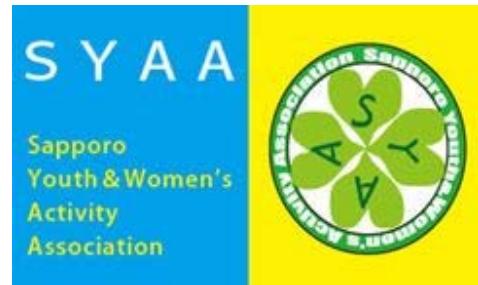
I. 一般概要

財団法人札幌市青少年女性活動協会は、その設立趣意書の中で、グループ活動を通じた事業活動を展開し、「先人に負けない開拓精神を持って、郷土札幌市の発展に寄与する」とともに「人情あふれる地域社会の確立に寄与する」ことで青少年の健全育成と青少年女性の社会参加の促進を図るため、幅広い世代を対象に様々な事業を行っている。

2011年は、東日本大震災の発生で日本全体が大きな影響を受けたことにより、その現状を受け止め、復興・再生に向けて今自分にできることは何かを考え実行する年となつた。財団法人札幌市青少年女性活動協会では、その設立趣意に立ち返り、私たちにしか出来ない何かで貢献しようと、福島の子どもたちを招いたキャンプ事業や、東北地方の児童関連施設への職員派遣、人形劇公演等、これまでの約30年間で蓄積してきたノウハウや協働してきた企業・個人との繋がりを最大限に生かして、微力ながらも社会に貢献できたと考えている。

また、平成23年度は、新たな事業として「市民活動プラザ星園」を拠点に、まちづくり活動団体支援や、地域協働事業の開始とあわせて市民活動基金を設置したほか、平成20年度に創設した「こども基金（スマイルキッズ）」では、これまでの法人や個人からの支援に加えて、児童会館に隣接する地域の町内会から多くの寄付を頂き、私たちが地域に支えられて事業を実施していることを改めて実感した1年でもあった。

現在、新公益法人制度により特例民法法人となっている当協会は、平成24年度にはこれまでの取り組みを基に、公益財団法人への移行申請を予定している。当協会にとって大きな転換期を迎えることとなるが、社会一般に広く認知される事業活動と、その活動を高く評価して頂くための取り組みこそが、認定への唯一の近道であると信じて事業活動に邁進し、より良い地域社会づくりに貢献すべく、これまで以上に職員一丸となって取り組んでいく。



II. 事業報告

1. 事業実施状

平成 23 年度 事業基本方針	
1	グループワーク等を通じて、青少年の健全育成と男女共同参画社会の実現に寄与する。
2	様々なニーズに対応した効果的な事業を展開し、専門性を生かした先駆的な事業に積極的に取り組む。
3	市民、地域、企業、関係機関とのネットワークをより強化し、協働を推進する。
4	自主事業の拡大を図り、自主財源の確保により経営の自立性を高める。

2. 施設管理運営

(1) 自主事業 2 施設

- ・滝野自然学園
- ・市民活動プラザ星園

(2) 指定管理 115 施設

- ・若者支援施設 5 施設
- ・児童会館 104 施設
- ・青少年山の家 1 施設
- ・定山渓自然の村 1 施設
- ・北方自然教育園 1 施設
- ・札幌エルプラザ公共 4 施設 1 施設
- ・こども劇場 2 施設

(3) 受託 70 施設

- ・ミニ児童会館 (70 施設)

3. 各課（各施設）事業実施報告

参加人数及び利用人数等の具体的な状況

1) 企画事業課 (指導事業:自主事業・受託事業)

(寄附行為第25条第1~5・7号に基づく事業)

(延べ)

事業区分	事業名	回数・時期・参加人数等
イベント企画 運営事業	水道展 2011 (財団法人札幌市水道サービス協会) 札幌市水道記念館におけるイベント運営	6月25・26日 (1回) 約13,000名
	発見おもしろ教室 遊びコーナーの運営	6月26日 約2,300名
	さっぽろっこ環境フェスティバル 遊びコーナーの運営	6月26日 約700名
	21世紀東アジア青少年大交流事業 インドネシアの青少年に対する日本文化体験プログラムの提供	6月30日~7月4日 30名
	札幌花き市場まつり 花き卸売市場における遊びコーナーの運営	7月23日 約2,300名
	交通資料館まつり体験コーナー運営業務 (財団法人札幌市交通事業振興公社) 交通資料館におけるキッズコーナーの運営	7月23日 約2,000名
	JTB まるごと北海道事業 円山動物園における夜間散策プログラムの提供	7月26日他 (全7回) 132名
	姉妹都市少年交流事業 三姉妹都市少年交流を目的にキャンプ等を展開	7月30日~8月2日 57名
	地下鉄開業40周年記念イベント (巨大迷路歴史展クイズラリー) 円山動物園における巨大迷路の運営	8月1日~8月7日 約10,000名
	西区サマーカーニバル 西区公園にて水遊びコーナーの運営	8月2・3日 約500名
	洞爺湖夏の冒険王 (日清食品) 洞爺湖を会場にキャンプを展開	8月3・4日 50名
	札幌市水道局電気自動車スタートセレモニー 札幌市水道記念館における記念式典	9月2日 約100名
	さっぽろパフォーマンスカーニバル 「だい・どん・でん」 四番街歩行者天国における大道芸イベント運営	9月2日~9月4日 約50,000名
	快適エコ電化フェア 苫小牧にて木工作コーナーの運営	9月3・4日 約1,000名
	札幌市下水道科学館フェスター部企画運営業務 (財団法人札幌市下水道資源公社) 札幌市下水道科学館におけるイベント運営	9月10・11日 約30,000名
	ぴかりんエコパークあそびコーナー運営 ウェルピアひかりイベントの遊びコーナー運営	9月17日~9月19日 約650名

事業区分	事業名	回数・時期・参加人数等
イベント企画 運営事業	たまねぎフェスタ (さとらんど) 巨大迷路の運営	9月17日～9月19日 約800名
	消費拡大フェア 中央卸売市場イベントにおける管理運営	9月25日 約8,000名
	こどものまちミニさっぽろ2011企画運営管理業務 子どもの就労体験イベントに係る運営及び ボランティアコーディネート業務	10月1・2日 約3,500名
	厚別区こどもまつり 巨大迷路の運営	10月9日 約1,700名
	食の安全安心体感フェア サッポロファクトリーを会場とした食に関するイ ベントの展開	10月21・22日 約1,000名
	さっぽろこどもの権利の日にかかる啓発事業 エルプラザにおける啓発事業	11月20日 約400名
	ターフシアター2011における工作教室運営業務 クリスマスにちなんだ工作会の実施	11月23日 約3,000名
	さっぽろまちづくり活動博2011 地下歩行空間イベント運営	12月10・11日 約2,300名
	SORAこそだてフェスティバル 遊びコーナーの運営	12月17日 約4,000名
	さっぽろっこスキーフェスティバル ばんけいスキー場におけるスキー啓発事業	1月9・10日 約2,300名
	ZOOナイトキャンプ2012冬 円山動物園にてキャンプを実施	1月14日（全3回） 39名
	歩くスキー出前講座実施業務 青少年山の家における歩くスキー啓発事業	1月25日他（全8回） 528名
	札幌コンベンションセンター キャンドル作り講座 キャンドル工作会の実施	1月28日 32名
	新さっぽろ冬まつり2012会場管理運営 実行委員会との連携により雪に関するイベントの 実施	2月4・5日 約3,500名
	NHKゆきんこフェスタにおけるワークショップ お手玉遊びワークショップの開催	2月11・12日 約500名
	豊平おもしろスノーパーク学生企画コーディネート 業務	2月12日 約1,500名
	西区文化フェスタ2012若者企画コーディネート業務 若者による芸術文化イベントのコーディネート	2月22日～2月26日 約400名
	「土曜はコトニ」実行委員会運営業務 西区まちづくり事業に係る実行委員会の運営	通年

事業区分	事業名	回数・時期・参加人数等
職員派遣事業	札幌幼稚保育専門学校非常勤講師派遣業務 幼稚保育専門学校におけるレクワーク講師派遣	4月18日～10月3日 (全11回) 374名
	発寒幼稚園体操教室 在園児・未就園児の体操教室指導	4月26日～2月29日 (全12回) 約2,500名
	石狩市プレーリーダー養成講座講師派遣	6月7日他(全4回) 20名
	札幌第一幼稚園講師派遣(運動会補助業務)	6月19日 約1,800名
	札幌市民力レッジ レクリエーション講座への講師派遣	7月2日他(全3回) 37名
	こどもサポーター養成講座指導業務(札幌市)	7月3日他(全4回) 45名
	札幌幼稚保育専門学校手話講座講師派遣業務	10月3日～11月14日 (全6回) 192名
	«さっぽろ雪まつり関連事業» ①さっぽろ雪まつり大雪像制作に伴う職員派遣 大雪像制作団への制作隊長派遣	10月～2月
	②大通り5丁目大雪像制作団指導業務 大雪像制作団への技術指導・ボランティアコーディネート業務	11月～2月 主催者発表:1,703,000名
	③さっぽろ雪まつりつどーむ会場実施業務 つどーむ会場屋外アトラクション設計制作	12月～2月
社会貢献事業	④さっぽろ雪まつりつどーむ会場運営業務 つどーむ会場屋外アトラクションの運営	2月5日 ～2月12日 主催者発表:351,000名
	⑤さっぽろ雪まつりにおけるぴかりん体操指導事業 つどーむ会場屋内ステージにおける体操指導	2月6日他(全3回) 約3,000名
人材育成事業	Sapporo Unifies 2011 札幌合同大学祭実行委員会への相談業務	10月15・16日 約9,000名
広報事業	MUSIC CAMP IN TAKINO 音楽をキーワードにキャンプを実施	10月29・30日 18名
こども基金事業	こども情報紙「あ・そ・ぼ」の発行	全5回 各10万部発行
	協会内部広報(きょうかいナウ等) 内部の情報共有を目的とした広報誌の発行等	月1回
こども基金事業	さっぽろスマイルキッズ基金事業 寄付事業及び助成事業の募集・実施	通年

2) 企画事業課（指定管理事業：若者支援施設 5 館）

（寄附行為第 25 条第 1～7 号に基づく事業）

1. 札幌若者支援総合センター

事業区分	事業内容	時期・回数・参加人数等
自立支援事業	<p>さっぽろ若者サポートステーション事業 若年無業者等の相談窓口を開設。相談内容に応じて、各種プログラムや外部専門機関を活用しながら自立へのサポートを行う。市内定時制高校へのスタッフ派遣や児童会館を利用した学習支援など継続して実施した。また、平成 23 年 7 月より中学卒業者等進路支援事業を受託し、進路が未決定のまま義務教育を終えた児童を対象に家庭訪問等の支援を行う。</p>	<p>通年 12,480 名 (前年度 12,733 名)</p>
	<p>札幌市子ども・若者支援地域協議会（若者支援調整機関） 内閣府のモデル事業として実施（2 年目）。市教育センターや児童相談所などの公的機関やフリースクールや引きこもり親の会などとの連携を図った。</p>	<p>代表者会議（年 2 回） 実務者会議（年 6 回） 講習会（年 8 回）</p>

2. 札幌市アカシア若者活動センター

事業区分	事業内容	時期・回数・参加人数等
社会参加促進事業	<p>「サタデースクールプロジェクト 2011」 北海道大学教育大学院生有志と若者活動センターとの共催。一人一人に合わせたサポートの「安全で安心な育ちの空間を創出」、「異年齢コミュニティ」づくり、そして「若者たちの成長」の機会を得ることを目標に活動。</p>	<p>通年（毎週土曜日） 708 名</p>
	<p>「中学生職場体験」受け入れ（NPOとの協働事業） 仕事に触れ、考える機会を提供することで、多様な職業観を醸成する一助となる事業。</p>	<p>5 月 10 日 芦別市立芦別中 4 名 11 月 24 日 札幌市立美香保中 4 名</p>
交流促進事業	<p>「Youth Cup バレーボール」 スポーツを通したコミュニティづくりを目的とする交流事業。</p>	<p>11 月 6 日 246 名</p>

3. 札幌市ポプラ若者活動センター

事業区分	事業内容	時期・回数・参加人数等
社会参加促進事業	<p>「お寺で座談会」 地域活動の実践者として白石区菊水地域で活動している照顧寺の住職の講話と、グループに分かれてテーマに沿ったディスカッションを展開。</p>	<p>7 月 26 日 17 名</p>
交流促進事業	<p>「ポプラ若者活動センター閉館式典」 ポプラ若者活動センターの閉館に伴い記念式典を実施。勤労青少年ホーム時代から 38 年の歴史に幕を閉じた。</p>	<p>3 月 24 日 158 名</p>

4. 札幌市豊平若者活動センター

事業区分	事業内容	時期・回数・参加人数等
交流促進事業	「雪と遊ぼう国際交流会」 近隣大学の国際交流サークルと共同し実施。雪だるまを作ったりお雑煮を食べるなど冬ならではの内容で国際交流を行った。	1月 15日 30名
	「若者舞台芸術祭 2012」 演劇団体の活動が活発化している背景を受け、若者の舞台芸術活動を周知し、ネットワークを広めるために札幌ビジュアルアーツの学生と共に企画。売上の一一部は東日本大震災チャリティ事業として募金を行った。	3月 10日 168名（出演団体 6組）

5. 札幌市宮の沢若者活動センター

事業区分	事業内容	時期・回数・参加人数等
交流促進事業	「The 5 th Music Revolution ~宮の沢若者活動センター大会~」 音楽活動をしているアマチュアの全国大会の予選を兼ねた大会をヤマハと共同で開催。	8月 21日 106名
社会参加促進事業	「西区文化フェスタ 2012 若者企画」 毎年2月に開催されている西区の伝統的事業に、若者活動センターによる若者企画を取り入れて、実行委員会形式により開催。寄席、音楽ステージ、オタク文化フェスタ等、若者実行委員会が自ら企画した内容でフェスタを実施。	2月 21日～2月 26日 372名

【利用状況】

(人)

内 訳	総合	アカシア	ボプラ	豊平	宮の沢	合計
自立支援事業	12,480	0	0	0	0	12,480
若者	9,967	0	0	0	0	9,967
一般	2,513	0	0	0	0	2,513
交流促進事業	122	924	1,016	791	4,673	7,526
若者	116	815	896	791	948	3,566
一般	6	109	120	0	3,725	3,960
社会参加促進事業	533	7,342	2,945	1,479	12,792	25,091
若者	533	1,539	2,661	1,468	1,592	7,793
一般	0	5,803	284	11	11,200	17,298
ロビー利用	2,890	2,842	675	954	14,645	22,006
若者	2,847	2,322	482	954	12,865	19,470
一般	43	520	193	0	1,780	2,536
貸室利用	18,811	45,867	29,972	33,070	66,342	194,062
若者	14,463	37,150	26,406	27,879	35,638	141,536
一般	4,348	8,717	3,566	5,191	30,704	52,526
合計	34,836	56,975	34,608	36,294	98,452	261,165
若者	27,926	41,826	30,445	31,092	51,043	182,332
一般	6,910	15,149	4,163	5,202	47,409	78,833

※総利用人数（前年度 219,683名・前年度比 118.9%）

3) こども育成課 (指定管理事業:児童会館 104 館
受託業務:ミニ児童会館 70 館)

(寄附行為第 25 条第 1~7 号に基づく事業)

事業区分	内容	時期・回数・参加人数等
読書活動の推進・図書環境整備	月数回の読み聞かせ活動の実施 読み聞かせ事業や子育てサロン、日常活動等において、読み聞かせ事業を実施。	1,892 回 44,782 名
関係機関との連携強化・学習支援の充実	学習図書の設置、学習できる環境作り 学習に取り組みやすい空間や時間帯を設けているほか、学習図書のPRや学習レシピを活用。	通年
中・高校生の利用促進(受託事業)	中・高校生対象のイベントの開催等 イベント等を通じたPR活動を展開。利用促進や、居場所作りから主体的な活動への展開を目的に、区合同の事業を実施。	実施日数: 10,147 日 中学生: 38,850 名 高校生: 48,775 名 相談件数: 720 件
環境活動	「ごみゼロ大作戦」: ラブアース・クリーンアップ in 北海道 2011 への参加 全館にて実施。地域と協働での取組みも多く見られ、子どもたちの環境保全の意識を高めた。	103 館 3,851 名 310 kg回収
	「プルタブ大作戦」 子どもたちや地域の方の協力によりリングプルを集め、車椅子と交換し施設等に寄贈。	3,166 kg回収 6 台寄贈
	「環境プラザ連携事業」 環境問題に対する意識を高めるため、環境プラザと連携し「こどもエコクラブ」等を実施。	中の島児童会館 あいの里ひがし児童会館 川北児童会館 等
	「買い物ゲーム」の実施 日常の買い物の模擬体験を通して楽しみながらゴミについて考える機会を持つた。	12 館
講習会・発表会	子どもたちの意欲や達成感を引き出すことを目的に、誕生会、各種発表会等を実施。	721 回 20,612 名
観賞会	「人形劇・演劇観賞等」 子どもたちの情操を育む事業として、人形劇や演劇、読み聞かせ等の事業を実施。	1,033 回 35,276 名
社会奉仕活動	清掃活動、施設訪問、防犯・防火活動等 地域社会の一員としての自覚を持ち、人とのつながりの大切さを学ぶ。	143 回 2,740 名
交流活動	お泊まり会、各ブロック合同行事、老人ホーム等施設訪問等 同世代、世代間交流等、様々な人と関わる体験により自分自身を高める機会を提供。	6,347 回 300,471 名
季節事業・パーティー	「歳時的事業等」 豆まきやクリスマス会等の歳時的事業を通じ、四季の移り変りや自然の風土を感じる心を育む。	1,114 回 302,484 名

事業区分	内容	時期・回数・参加人数等
野外・自然体験活動	<p>キャンプ事業、畠づくり、遠足等 自然とのふれあいを通した様々な体験の中で、生きる知恵を育む事業を実施。</p>	657回 14,034名
伝統芸能活動	<p>伝承遊び、茶道教室等 日本の伝統文化に対する興味や関心を引き出し、より良い文化を受け継いでいく心を育む。</p>	1,985回 26,655名
体力増進・スポーツ	<p>遠足事業、一輪車等 日常の遊びやスポーツを通して健康の増進を図り、人との関わりを通じ社会性を身に付ける。</p>	2,001回 39,473名
子育てサロン事業	<p>子育てサロンの実施 「年齢別プログラムの実施」「子育ての悩み等への相談」「子育て講座」等、利用者の希望、要望を発掘し、可能なところから取り入れ実施。</p>	99館 4,244回 252,730名 相談件数：608件
危機管理事業	<p>自衛消防訓練 子どもたちと共に火災等に備え訓練を実施。</p>	*
	<p>自然災害等緊急時の対応確認 各館ごとに一時避難場所・収容避難場所・広域避難場所の確認を行い、意識の向上に努めた。</p>	*
	<p>不審者訓練 不審者チェックリストを活用した点検を全館で実施。地域の警察署等の協力を得て「防犯講座」を受講し、知識や技術の習得に努めた。</p>	*
	<p>日常活動における事故防止と予防策 施設管理チェックリストを活用し、施設内外の環境整備に努めた。手指用消毒液等の設置により感染症予防対策を行った。</p>	*
子ども運営委員会	<p>子ども運営委員会 子どもたちの意見や要望を反映させた会館運営を目指し、各館に子ども運営委員会を設置。</p>	*
	<p>子ども運営委員会活動促進支援事業 全国児童館・児童クラブ北海道大会と同時に開催された「あそびの日本一周どうで Show」において、子ども運営委員会メンバーがコーナー運営を実施。遊びのレシピ集を作成した。</p>	*
児童クラブ	<p>「子どもの育ち」を視点において、保護者と共に運営する児童クラブの方向性を探る 各会館で趣向を凝らした活動を実施。「クッキング」「工作会」「児童クラブ員活動発表会」等、保護者も参加しやすいプログラムを展開することにより、親子や保護者と職員間の関わりが深くなり良い効果を発揮している。今後は、保護者の力を活用した保護者ティーチャー等の取組みに力を注いでいく。</p>	平成23年4月末日現在 在籍数：9,408人 平成24年3月末日現在 在籍数：9,033人

【利用状況】

(人)

区分	開館日数 及び回数 (延べ数)	人 数	利 用 人 数 の 内 数					
			幼児	低学年	高学年	中学生	高校生	一般
児童会館	30,904	2,208,580	212,999	1,162,370	311,910	121,924	71,046	328,331
ミニ児童会館	19,820	869,661	4,591	698,672	150,255	1,091	257	14,795
占用利用	12,811	198,197	9,307	35,170	46,606	19,584	6,116	81,414
総 利 用		3,276,438	226,897	1,896,212	508,771	142,599	77,419	424,540

※総利用人数 (前年度 3,283,410 人・前年度比 99.78%)

■児童クラブ在籍数

(人)

区分	平成23年4月末日現在の在籍数							延べ 入会	延べ 退会	平成24年3月末日現在の在籍数						
	1年	2年	3年	4年	5年	6年	計			1年	2年	3年	4年	5年	6年	計
在籍人数	3,224	3,065	2,271	813	21	14	9,408	10,525	1,492	3,359	2,918	2,027	694	20	15	9,033

※4月末日現在の在籍数の比較(前年度 8,493 人・前年度比 110.7%)

■学校からの直接来館届出数

(人)

区分	1年	2年	3年	4年	5年	6年	計
クラブ員の兄姉	0	1	14	140	193	96	444
特別支援学級等	2	4	7	9	6	7	35
特認校	54	34	24	34	4	15	165
計	56	39	45	183	203	118	644

※ (前年度 766 人・前年度比 84.07%)

■障がい児受け入れ数

(人)

内訳

区分	1年	2年	3年	4年	5年	6年	計	クラブ	直来
普通学級	61	83	58	38	16	10	266	185	81
特別支援学級	38	43	43	63	39	42	268	120	148
特別支援学校	1	2	2	1	1	1	8	2	6
計	100	128	103	102	56	53	542	307	235

※ (前年度 512 人・前年度比 105.85%)

4) 野外活動課（指導事業：野外活動事業、自主運営施設：滝野自然学園）

（寄附行為第 25 条第 1～7 号に基づく事業）

事業区分	事業内容	回数・時期・参加人数等
<p>【指導事業】 野外活動事業</p>	<p>たきの森のがっこ 小学1年から6年生までを対象とした自然体験活動プログラム。自然の中での活動をとおし、自然の営みや面白さに触れ、人と自然との密接なかかわりを体験的に学ぶ機会とした。</p>	<p>通年日帰り 6回、1泊4回 296名</p>
	<p>たきの森のようちえん 2歳から就学前の幼児とその保護者を対象とした自然体験活動。豊かな自然環境の中で子どもたちがのびのびと過ごし、自然と人との関わりをとおして、優しさと生きる強さを育む。</p>	<p>通年日帰り 20回 742名</p>
	<p>大人のための自然学校 滝野自然学園平日利用促進の一環として、シルバー世代や主婦、平日休暇の方を対象とした体験型事業を実施。大人がのびのびと自然に触れ、感じることができるプログラムを提供。</p>	<p>通年日帰り 10回 103名</p>
	<p>リトルキャンプ 小学校低学年を対象とした2泊3日の自然体験活動プログラム。新しい仲間との出会い・協力・目的達成までの過程で自立心や協調性、社会性を育む機会となる事業を実施した。</p>	<p>8月 2期実施（2泊3日） 110名</p>
	<p>お父さんと過ごす週末キャンプ 小学生の児童と父親を対象とした週末宿泊型の自然体験活動。日常的に希薄となりがちな親子間のつながりや子どもを取り巻く生活環境を見つめなおす機会として実施した。</p>	<p>2回（7月、1月）1泊2日 親子 31組 64名</p>
	<p>幼児の森づくりプロジェクト 利用促進の一環として、幼児から大人までが安全に活動できる裏山を関係団体との協力で整備。幼児教育者や林業関係者より助言をいただき、環境に配慮した子どもの遊び場作りを実践。（平成23年度は検討委員会を実施。）</p>	<p>3月 10名</p>
	<p>その他指導事業 自然体験活動やレクリエーション、各種指導者の養成、リーダー養成等を目的とした企業や団体の業務を請け負い、実技指導、講義、講演活動をとおして、青少年の健全育成とよりよい社会作りに寄与する。</p> <p>【平成23年度実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・さっぽーとさっぽろ親子レク（市中小企業共済センター） ・自然体験活動セミナー（市教委） ・カヌーキャンプ（ネイチャープログラムデザイン） ・クボタ E プロジェクト（北海道クボタ） 	<p>通年 392名</p>

事業区分	事業内容	回数・時期・参加人数等
【自主運営施設】 滝野自然学園	将来的な自然学校化を目標に、活用できるプログラムの開発を積極的に実施。廃校校舎の再利用という特色を前面に出し、環境に配慮した形のプログラム提供と管理運営を実践した。	通年 106 団体 7,048 名
合計		8,765 名

【利用状況】

■利用人数

(人)

	H23		H22	
	延べ人数	実人数	延べ人数	実人数
4月	77	40	213	166
5月	529	495	276	276
6月	408	389	540	446
7月	942	612	1,171	920
8月	2,380	1,860	695	470
9月	551	445	459	263
10月	331	186	228	177
11月	256	200	184	184
12月	142	122	101	80
1月	624	396	571	392
2月	314	233	161	118
3月	494	428	290	145
合計	7,048	5,406	4,889	3,637

※ (前年度比 148.6%)

■利用団体数

(団体)

	H23	H22
	団体数(主催事業)	団体数
4月	2(0)	3
5月	11(4)	6
6月	10(4)	6
7月	14(4)	14
8月	12(5)	9
9月	10(3)	9
10月	5(4)	5
11月	8(5)	5
12月	7(3)	4
1月	10(3)	11
2月	12(5)	5
3月	5(1)	3
合計	106(41)	80

※ (前年度比 132.5%)

5) 野外活動課（指定管理事業：青少年山の家）

（寄附行為第25条第1～7号に基づく事業）

事業区分	事業内容	回数・時期・参加人数等
青少年キャンプ事業	<p>トライキャンプ 長期自然体験学習のモデルプログラム作りを兼ねた小学4～6年生を対象としたキャンプ事業。</p>	8月（4泊5日） 64名
	<p>森もりキャンプ 小学1～6年生を対象とした全学年交流型の環境教育キャンプ。異学年間の交流と理解、自然環境への気づきと理解を深めた。</p>	10月（2泊3日） 58名
	<p>なかよしキャンプ 年長児と5年生が関わるプログラム活動をおし、教育現場の課題のひとつである「小1 プロブレム」について、野外教育の視点から解決に寄与できる事業を実施。</p>	通年4回 (日帰り3回、宿泊1回) 76名
生涯学習事業	<p>自然観察ハイキング 青少年山の家植物ボランティアとの協働で、幼児から大人までを対象とした自然観察事業を実施。</p>	通年日帰り4回 194名
	<p>陶芸教室 青少年山の家陶芸ボランティアとの協働で、小学生から大人までを対象とした陶芸体験事業を実施。</p>	通年日帰り6回 48名
	<p>しめ飾り作り 広く市民を対象とした「しめ縄飾り作り」の体験活動をおし、日本の伝統文化への理解や興味関心を深める機会を提供。</p>	12月（日帰り） 21名
	<p>専門指導者ワークショップ 野外教育や環境教育の専門家を招き、学校教員や野外教育指導者、青少年指導者等を対象としたワークショップを実施し、施設を中心としたネットワークの拡大を目指した。</p>	3月（日帰り） 23名
	<p>指導者養成事業 利用団体の活動を支援するためのボランティアスタッフの養成事業。今年度からは札幌市自然体験活動セミナー（市教委主催）と連携して事業を実施。</p>	通年 82名
	<p>ボランティアスタッフ活動／フォローアップ研修 野外、自然観察、天文、陶芸の4分野のボランティア活動の支援や活動場所を提供。 すでに専門的知識を有するボランティアスタッフに対し活動の機会を提供するとともにフォローアップ研修会を実施。</p>	通年（58回） 38名

事業区分	事業内容	回数・時期・参加人数等
活動支援事業	利用団体支援 担当職員を利用団体ごとに配置し、事前調整から当日利用の指導助言までを対応した。	通年 総団体数 508 団体
	出前授業拡大／拡大出前事業 宿泊学習の効果を高めるため、職員が小学校へ出向き事前指導を行った。	通年 [出前] 87 校 6,614 名 [拡大出前] 3 校 185 名
	合同下見会 利用予定小学校の教員を対象に、事前に活動などを体験してもらい、安全かつ円滑に宿泊学習を実施してもらうことを目的とした。	通年 4 回 (日帰り) 397 名
	活動プログラム開発および提供 新たなプログラムとして、雪害で倒れた樹木を活用した丸太切り等の倒木プログラムや自然観察ガイドブックの教材開発を行った。	通年
利用促進事業	利用促進 市内幼稚園、保育園向けに冬季の利用案内リーフレットを作成。歩くスキープログラムを提案し次年度の市内中学校の利用を誘致。	10 月～
	*その他 「ホームページ」 「学校利用の手引」 「一般団体用リーフレット」	通年

【利用状況】

(人)

項目	宿泊を伴う利用				日帰り利用		下見		合計			
	団体数	実利用者数			延利用者数	団体数	利用者数	団体数	利用者数	団体数	実利用者数	延利用者数
		宿泊	日帰り	補助的 指導者								
学校	幼稚園等(4歳以上)	21	1,006	18	0	2,050	12	541	20	85	53	1,650
	小学校	204	16,549	327	1,155	34,580	2	76	136	349	342	18,456
	中学校	30	2,960	22	4	6,029	10	1,352	28	87	68	4,425
	高校	10	856	11	2	2,409	0	0	4	12	14	881
	盲聾養護学校	2	21	4	0	46	0	0	2	8	0	33
	専門学校	3	197	18	0	506	1	244	3	6	7	465
	大学	5	60	6	0	147	0	0	2	3	7	69
青少年団体	その他	2	31	2	0	64	0	0	0	0	0	33
	少年団体	70	5,026	243	0	10,852	9	226	21	79	100	5,574
指導者団体	青年団体	13	572	55	0	1,486	0	0	4	16	17	643
	学校教育関係	0	0	0	0	0	0	0	1	2	0	2
	社会教育関係	1	32	1	0	65	3	129	2	10	0	172
	親子	6	38	0	0	80	0	0	0	0	0	38
官公庁	官公庁	15	1,428	73	0	4,117	7	626	7	102	29	2,229
	その他	44	1,069	152	0	2,601	18	911	38	133	100	2,265
主催事業	主催事業	4	140	2	0	531	16	390	7	579	27	1,111
	計	430	29,985	934	1,161	65,563	78	4,495	275	1,471	764	38,046
■出前事業実績／学校利用抽選会 1 件 (196 人)、出前授業 87 件 (6,614 人)、拡大出前授業 3 件 (185 人)												
※総利用人数(前年度 73,343 人・前年度比 97.5%)												

6) 野外活動課（指定管理事業：定山渓自然の村）

（寄附行為第25条第1～7号に基づく事業）

事業区分	事業内容	回数・時期・参加人数等
利用促進事業 (新規利用者の獲得)	<p>ファミリーキャンプ 2011（初心者キャンプ） キャンプ初心者を対象に、日帰りまたは宿泊型の野外活動プログラムを提供し、自然環境及びキャンプの楽しさを学ぶ機会の提供を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> * 「道産素材で大人の野外料理研究会」 「キャンプガイド＆サポート事業」 「やさしいシルバー低山トレッキング」 「大人のためのキャンプ研究会」 <p>他（全7事業）</p>	141回 1,826名
交流促進事業 (施設利用者向け・ 継続参加型)	<p>フルーツクッキング俱楽部 活動提案・交流事業の一つとして、地元特産の食材を生かした料理を楽しみながら、交流促進を図った。北方自然教育園や南区内の専門学校等との連携事業として実施。</p> <ul style="list-style-type: none"> * 「キャンプファイヤー」 「期間限定特別プログラム」 (樹液採取、クリスマス等) 「親子の自然遊びタイム」 他（全5事業） 	68回 4,540名
連携事業	<p>定山渓フットパス研究会 地域に精通する人材及びボランティアを活用し、定山渓の自然、歴史、化石をテーマとした周辺環境の理解を深める機会の提供を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> * 「地域連携事業」 「公的施設等連携事業」 (青少年科学館と連携し天文観察等を テーマに共同企画による事業を実施) 「野外系施設連携事業」 (活動協会の野外系3施設ボランティア 人材育成のための連携研修会を実施) <p>他（全5事業）</p>	通年 224名
人材育成事業	<p>ボランティア事業 各種自然体験プログラムや主催事業におけるボランティアの人材発掘、人材力の発揮や知識・技能向上を目的とした研究活動、プログラム研修会を実施。ボランティアの相互関係の構築や、他施設ボランティアとの人的交流、情報交換等の機会提供を行い、主体的な活動促進のための支援を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> * 「野外ボランティア」 「天文ボランティア」 他（全6事業） 	235回 679名

事業区分	事業内容	回数・時期・参加人数等
PR事業	<p>自然体験プログラムの出前事業 依頼のあった場所におもむき各種自然体験プログラム等を実施（工作、スノーシュートラベル等）市内の小学校でも実施した。 *「団体利用プロモーション」 「事業プロモーション」他（全5事業）</p>	3回 142名 他 通年（随時）
ガイドプログラム事業	<p>森の工作会 自然素材を用いた工作活動を通して自然について知る機会を提供。 *「石窯料理体験会」 「森の観察会」 「星空観察会」他（全8事業）</p>	486回 10,109名
セルフプログラム事業	<p>わくわくラリー 主に年少者を対象として、動植物等に関することや野外活動、自然の村に関するクイズラリーの設問に答えながら村内を探検。 *「レッツトライアウトドア料理」 「雪上散歩＆雪国遊び体験」 「ドラム缶風呂体験」他（全9事業）</p>	365回 3,496名
合計		21,016名

【利用状況】

(件)

(人)

区分	件数	人数
宿泊施設の利用総数（a）	3,977	15,396
コテージ	2,119	8,605
テントハウス	770	3,699
テントサイト	1,088	3,092
見学者（b）	—	874
総利用（a）+（b）	3,977	16,270

※利用件数（前年度 4,239件・前年度比 93.8%）

※利用人数（前年度 17,475人・前年度比 93.1%）

7) 野外活動課 (指定管理事業：北方自然教育園)

(寄附行為第25条第1~7号に基づく事業)

事業区分	事業内容	回数・時期・参加人数等
農業体験事業 体験農場	「自然との関わり」「仲間との共同作業」を通して「生きる力」を育むことを目的に、市立学校・幼稚園に各種農業体験の機会を提供。	畠：30校 2,063名 水田：16校 1,009名 サクランボ：14校 716名
自然体験学習の提供	自然ふれあい事業 動植物の観察及び自然観察等を通じ、親子に様々な体験の場を提供した。 自然体験事業 自然教育、自然体験の場を提供し、環境教育や交流の機会とする。 *「自然体験学習会」「北方ママカフェ」	5月～2月 30回 109家族 384名 4月～2月 23回 220家族 711名
教材用生物の提供事業	市立学校・幼稚園における自然教育・自然体験学習を支援することを目的に、昆虫・生物等の教材を各校の希望により提供した。	稻133校／糸瓜200校 蟋蟀185校／蚕157校
自然体験・展示に関する情報収集・提供事業	市立学校の自然体験教育に応えられるよう、教育園での支援活動プログラムの作成に着手した。	*
市民の自主的な活動及び交流支援事業	施設ボランティアの養成を行うとともに、活動場所の提供を行った。市民の自主的活動を、ボランティアがサポートできるよう工夫。	登録人数：6名
自然観察、飼育栽培に関する研修業務	市立学校等の教職員を対象に、自然観察及び飼育栽培に関する研修を実施した。	*
自然体験や展示に関する相談事業	昆虫の飼育方法や果物等の生育方法等、各種相談に応じた。今後はHPを活用し、飼育方法等を紹介、掲示していきたい。	月平均20回程度

【利用状況】

月	施設利用						体験農場								自然体験学習会		自然ふれあい事業等		合計		事業					
	学校・園		一般市民		小計		学校・園				小計				自然体験学習会		自然ふれあい事業等		合計		事業					
	団体	人数	団体	個人	人数計	団体	人数	団体	人数	団体	人数	団体	人数	団体	人数	団体	人数	団体	人数	団体	人数					
			人数	人数																						
4	0	0	0	0	1,127	1,127	0	1,127	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	12	0	1,139	0	12		
5	6	538	4	343	1,491	1,834	10	2,372	6	538	0	0	0	0	0	0	6	538	41	149	0	76	57	3,135	0	225
6	24	1,501	2	336	934	1,270	26	2,771	8	492	16	1,009	0	0	0	0	26	1,501	8	30	58	156	60	4,458	0	186
7	14	716	3	139	1,068	1,207	17	1,923	0	0	0	0	0	0	14	716	14	716	43	151	8	21	74	2,811	0	172
8	5	307	6	133	1,017	1,150	11	1,457	5	307	0	0	0	0	0	0	5	307	50	167	10	31	66	1,962	0	198
9	6	867	4	122	497	619	10	1,486	11	726	0	0	0	0	0	0	11	726	0	0	8	27	21	2,239	0	27
10	0	0	2	100	80	180	2	180	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	180	0	0	
11	16	39	3	144	208	352	19	391	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	17	49	14	36	36	476	0	85
12	0	0	1	75	30	105	1	105	0	0	0	0	0	0	0	0	0	27	81	6	12	28	198	0	93	
1	0	0	2	3	41	44	2	44	0	0	0	0	0	0	0	0	0	12	33	0	0	14	77	0	33	
2	0	1	0	0	76	76	0	77	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	14	0	1	4	92	0	15	
3	0	0	0	0	158	158	0	158	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	12	0	170	0	12	
合計	71	3,969	27	1,395	6,727	8,122	98	12,091	30	2,063	16	1,009	0	0	14	716	60	3,788	202	674	109	384	360	16,937	0	1,058

※利用団体（前年度405団体・前年度比88.9%） ※利用人数（前年度19,531人・前年度比97.5%）

※事業参加人数（前年度1,435人・前年度比73.7%）

8) 市民参画課（指定管理事業：札幌エルプラザ公共4施設）

（寄附行為第25条第1～7号に基づく事業）

■札幌市男女共同参画センター

事業区分	事業内容	回数・時期・参加人数等
学習機会の提供、学習成果及び指導者等の人材育成	<p>男女共同参画週間講演会 テーマ：「ケンタロウ流おいしい生活！」 男女共同参画社会基本法の理念と男女共同参画社会の実現に向けた取り組みを考えることを目的に講演会を実施。</p>	6月18日 320名
普及・啓発 情報収集・提供	<p>若年層への男女共同参画啓発のための居場所づくり事業～たまりんば～ 若年層の方々が男女共同参画について考える機会を提供。</p>	9月16日～3月16日 全7回 9名
学習機会の提供、学習成果及び指導者等の人材育成	<p>就業支援機能 「女性のためのチャレンジ支援事業」 「地域で！おウチで！私らしい仕事の始め方」 起業を目指す女性たちの育成と更なるネットワークの広がりを目的に実施。</p> <p>ライフプラン講座 「アンダー35男子のためのコミュニケーション講座」 若年層をターゲットとしたコミュニケーションに関する講座を実施。</p> <p>女性ためのソーシャルビジネス講座 札幌市経済局、日本政策金融公庫北海道支店と三者の共同開催で、ソーシャルビジネスという新しい働き方を広く周知し、将来の担い手を育成していく機会として講座を実施。</p>	8月25日～9月29日 全5回 110名
市民活動・交流の支援、ボランティア活動の支援・活用	異世代交流事業「じいじの孫育て講座」 子育てや孫育てに関わりが少ないと言われている高齢の男性に焦点をあて、男女共同参画について考え、地域への活動への足がかりとなるように実施。	11月19日 12名
その他	<p>「全国女性会館協議会 地域における男女共同参画に関する研修事業」 全国女性会館協議会との連携事業。研修事業、情報事業等を実施し、女性関連施設の事業及び管理運営の充実・発展を図ることにより、地域に根ざしたネットワーク強化を目指す。</p>	1月30日～2月27日 243名
		3月6日～14日 12名
		12月8・9日 42名

■札幌市市民活動サポートセンター

事業区分	事業内容	回数・時期・参加人数等
研修学習に関する業務	サロン事業「市民活動サロン」 市民活動団体間、または市民、企業、行政などが積極的な交流や情報交換を行い団体の相互作用とスキルアップを図る機会を提供。	5月26日～1月24日 全4回 145名
	ポイント支援講座プログラム「協働企画コース」 市民活動団体団体と協働で事業を実施することにより市民活動に対する理解と参加の促進を図ることを目的に実施した事業。	1月14日～2月29日 全6回 134名
情報収集提供・相談に関する業務	市民活動情報誌『みんなのしみさぽ』発行 施設の広報と、市民活動の情報提供を行う手段として紙媒体の情報誌を発行。	年3回 各5,000部
団体活動支援に関する業務	活動支援環境の整備 「活動スペースの調整と機器の配置」 市民活動を支援するため、パソコン機器等を活用できる環境を整備。会議コーナー等の提供を行った。	利用人数 ・会議コーナー (15,115名) ・PCコーナー (5,847名) ・打合せコーナー (25,630名) ・印刷機 (8,446名)
	事業運営協議会 公募の委員を含めた協議会を組織し、主催事業や施設の利用に関する事項を協議するとともにセンター運営に反映。	6月24日、12月16日 17名

■札幌市環境プラザ

事業区分	事業内容	回数・時期・参加人数等
普及啓発企画	野田知佑さん講演会 「カヌーの旅で見た世界の川 日本の川」 カヌーイストである野田知佑さんをお招きし、自然環境のについての講演会を実施。	9月20日 169名
環境教育・学習の推進	教育機関への学習支援 「北海道教育大学への支援」 環境教育論受講学生の演習の場としてプログラムおよび会場提供を行った。	5月30日～11月19日 57名
	環境教育関連施設連携事業「親子バスツアー」 自然と人がバランスよく暮らすライフスタイルについて考える機会として、札幌南区の自然をフィールドに自然観察体験を実施。	6月19日 9組20名
環境保全活動、交流の支援と推進	「こどもエコクラブ」 身近な環境に興味をもってもらい、こどもたち自らが考え、具体的な取り組みをしていくことを目的として事業を実施。	5月28日～3月17日 全20回 14名
その他	環境中間支援会議・北海道と北海道大学環境科学院との連携 地域社会への貢献を目的とし、教育・研究交流・人的、情報交流等の分野で連携を図る。	12月～

■札幌市情報センター

事業区分	事業内容	回数・時期・参加人数等
学習支援・啓発事業	<p>ブックトーク 4分野（男女共同参画・市民活動・環境・消費）に関連する分野で活躍する講師を迎え、所蔵資料に関連するトークを行い、情報センター利用の活用および新規利用者獲得を図った。</p>	<p>9月10日～3月10日 全3回 147名</p>
	<p>インフォメーションリテラシー講座 情報の取捨選択力の重要性を伝え、市民の情報収集力、活用能力を高めるためインフォメーションリテラシーの講座を実施。</p>	<p>2月21日 14名</p>
	<p>読書会 ビブリオバトル in 情報センター 発表者が順番に5分ずつ本の魅力をプレゼンし、観戦者が一番多く「読みたくなった」本を投票し、チャンプ本を決定。</p>	<p>9月27日～3月16日 288名</p>
	<p>読書会 本好きを増やすためのアニメーション講座 絵本や図書を用いてアニメーションの具体的な実践を踏まえながら、本への興味関心や子どもたちの探究心、考える力を育てる方法を学んだ。</p>	<p>1月13日 33名</p>
情報活用事業	<p>情報活用IT事業 “NPOのための” 今日から始めるfacebook講座 ソーシャルコミュニケーションツールのひとつであるfacebookについて他のSNSとの違いとその活用方法、またNPOの情報収集および情報発信ツールとしての活用を学んだ。</p>	<p>1月27日 17名</p>
	<p>企業の社会貢献活動PRの場としての情報センター活用事業 モデル事業：「PURPLE RIBBON PROJECT」 企業の社会貢献活動PRの場としての情報センター活用事業における実践モデルとして、女性に対する暴力をなくす運動週間に啓発展示を行った。</p>	<p>11月12日～25日 周知人数：18,861名 賛同パネル参加人数：502名 パープルリボン配布数：244個</p>

■共通事業

事業区分	事業内容	回数・時期・参加人数等
賑わい創出事業	「北8条通アマとホップのフラワーロード」 公共4施設、地域・企業・行政などが協働で地域の企画に参加することで、連携と公共4施設の工法を目的に実行委員会との協議で実施。施設周辺花壇に植栽を行った。	5月27日 35名
	キャンドルナイト事業 キャンドルの灯りの中で、環境や自然、男女共同参画、市民活動、消費生活などを考えていたただききっかけとなるような朗読やカフェを実施。	6月22日 70名
	エルプラまつり2011 施設を利用する市民活動団体・一般サークル団体の活動発表の場として多くの人に知つてもらうこと、また協力団体との協働による相互理解を目的に実施。	9月10日 9,360名
	「スノー&アイスキャンドル大作戦」 北国ならではの雪や氷のオブジェであるスノーキャンドル等の制作、点灯を通じて、市民をはじめ多くの方々とふれあう機会とし、また、札幌エルプラザ公共4施設の周知を図ることを目的に実施。	2月14日～22日 35名

【利用状況】

(人)

区分	施設利用	相談事業	視察・見学	展示コーナー	総合学習	施設外事業
男女共同参画センター	件数	30,605		2		6
	人数	365,568	678	71		439
消費者センター	件数	3,728		12		
	人数	48,825	12,439	510		
市民活動サポートセンター	件数	25,306		40		1
	人数	67,005	711	81		81
環境プラザ	件数	2,089		63		8
	人数	26,297	87	853	24,877	1,008
合計	件数	61,728		117	0	15
	人数	507,695	13,915	1,515	24,877	1,008

情報センター来館者 42,943

平成23年度札幌エルプラザ
公共4施設総利用者数 595,682

※消費者センター施設利用、相談事業件数に関しては(社)札幌市消費者協会実施分を含む。

※平成23年度総利用者数 前年度比 104.9% (平成22年度 567,924人)

その内、情報センター利用者数 前年度比 117.8% (平成22年度 36,448人)

9) 市民参画課（受託事業：市民活動プラザ星園）

（寄附行為第 25 条第 1～7 号に基づく事業）

事業区分	事業内容	回数・時期・参加人数等
連携支援事業	<p>「NPO手作り市場」</p> <p>市民まちづくり活動を行っている団体の活動PR及び手作りをキーワードにした成果物の紹介と販売を行った。</p> <p>民間施設での初めての開催となり、市民まちづくり活動団体のみならず、若者総合センター自立支援事業参加者がボランティアスタッフとして、また豊平若者活動センターで活動する若者団体も共同で事業を作り上げ、世代間交流、異業種交流が実現した。</p>	10月3・4日 150名
	<p>「知り SHIRI コンサート」</p> <p>市民活動プラザ星園の開館を記念し、札幌市芸術文化財団と共に、入居団体間の交流と地域の方への「市民活動プラザ星園」の周知の一環としてバイオリンとピアノのコンサートを実施。皆で音楽を聴くという体験から会話が弾み、自主的な団体の自己紹介等へとつながった。また、若者総合センターの自立支援事業参加者がボランティアスタッフとして参加し、休憩時間等に参加団体との交流も図られていた。</p>	11月30日 518名
地域協働事業	<p>「豊水地区町内会清掃」</p> <p>入居団体と共に豊水地区第二町内会主催のゴミ拾い活動に参加し、地域との連携を深めた。日中の時間ということもあり、参加者は12人と少数ではあったが、町内会役員とゴミ拾いを通してゆるやかな交流が生まれた。</p>	10月7日 12名
	<p>「市民活動プラザ星園 秋まつり」</p> <p>活動スペース入居団体と共に、施設の周知とPR、入居団体及び貸室利用団体の発表の場及び利用者間の交流を兼ねて実施した。子どもからお年寄りまで沢山の来場者で賑わった。今年度は職員主導で実施したが、今後は実行委員方式で進めていけるように企画していきたい。</p>	10月7日 518名

【利用状況】

（人）

利用月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用者数	1,372	2,178	1,507	1,669	1,156	825	542	1,517	10,766

10) こども劇場課

(指定管理事業: こどもの劇場やまびこ座・こども人形劇場こぐま座)

(寄附行為第 25 条第 1~7 号に基づく事業)

事業区分	事業内容	回数・時期・参加人数等
人材育成事業 (大人対象)	初心者のための人形劇講座 人形劇人の育成とグループ活動の推進。 こぐま座、やまびこ座の公演活動の活性化を図る。	4月28日~7月24日 9月1日 全13回 122名
	若手人形劇団育成講座 初心者講座を修了した若手人形劇団の人形劇活動を支援し、人形劇人の育成を図る。	4月28日~11月3日 全20回 135名
	人形浄瑠璃講習会 18歳以上を対象とし、日本の伝統芸能である「三人遣い」を学ぶ講習会。あしり座との共催。	5月24日~2月24日 全31回 308名
	東区市民劇団成果発表 一般市民から公募し演劇ワークショップを実施。 市民劇団「オニオン座」を立ち上げ、やまびこ座プロデュース公演として成果を発表。	6月7日~3月27日 全50回 1,063名
	やまびこ座・こぐま座プロデュース人形劇 アマチュア人形劇団と専門のアーティストが協働し人形劇を創造することで人形劇文化の向上、発展を目指す。	7月4日~3月17日 全46回 273名
	* その他 「手づくり絵本講習会」 「義太夫講習会（一般コース）」 「初心者のための舞台照明講座」 「腹話術初心者入門講座」 他（全7事業）	39回 528名
	やまびこ座遊劇舎 小学3~6年生対象。劇あそびや表現あそびなどを通して、舞台表現、演劇表現などを体験。	通年 全32回 954名
人材育成事業 (子ども対象)	劇☆やまびこ座 YOUTH 中学生・高校生を対象とし、劇づくりを通して表現する喜びや自主性、異年齢間の交流を目的とした演劇活動を実施。	通年 全33回 560名
	ざ・にんぎょうじょうるりユースクラス 中学生・高校生を対象にした人形浄瑠璃講習会。北海道では触ることの少ない伝統芸能を体験できる豊かな体験の機会を提供。	通年 全34回 541名
	こぐま座こども人形劇団 小学3~6年生対象。人形劇を通して、様々な表現活動を展開し創造力を育む。	通年 全46回 487名
	* その他 「こぐま座パペットユーススクール」 「こども舞台体験プログラム『ふれアート』」 「義太夫講習会（中高生）」 他（全5事業）	51回 370名

事業区分	事業内容	回数・時期・参加人数等
公演事業	<p>幼児のためのちいさな劇場 就園前の2歳以上を対象にした平日公演。上演時間を短くし観劇に慣れ親しんでもらう機会とした。</p>	16回 978名
	<p>東日本大震災チャリティー公演 地元人形劇団などの協力を得て、チャリティー公演を実施。入場料収入を義援金とした。 *「ゴールデンウィーク特別公演」 「東日本大震災支援北海道こども舞台フェスティバル」 他(全3事業)</p>	18回 1,335名
	<p>第40回札幌人形劇祭 人形劇の質的向上を目指し、道内で活動している人形劇団による、コンクール形式の連続公演。経験豊かな審査員と観客によって審査が実施された。</p>	11月19・20日 2回 374名
	<p>人形浄瑠璃2011「座・競演Vol.2」 札幌ではなじみの少ない古典芸能の良さを広く道民に伝えるため観劇の機会を提供。 *「人形浄瑠璃2012」(全2事業)</p>	5回 599名
	<p>修了公演・発表会 劇場が主催した講座の成果発表を行う修了公演。 *「初心者のための人形劇講座発表会」 「東区民劇団成果発表」 「若手人形劇団育成講座発表会」 「やまびこ座遊劇舎発表会」 「ざ・にんぎょうぎょうじょうるリユースクラス発表会」 「劇☆やまびこ座 YOUTH 発表会」 「こぐま座こども人形劇団発表会」(全7事業)</p>	9回 1,130名
	<p>*その他 「夏休み特別公演」 「人形劇フェスティバル201 さっぽろ冬の祭典」 「世界の人形劇シリーズ(ロシア、スペイン)」 「こぐま座35周年記念月間事業ベテラン&若手人形劇団夢の共演」(全8事業)</p>	46回 4,731名
	<p>読み語りの会</p>	通年 全38回 1,035名
	<p>元町北小学校アウトリーチ事業 子どもの表現活動を支援。インストラクターを地域の小学校に派遣し、人形劇・演劇等の指導を行う。</p>	6月7日～12月2日 全15回 1,802名
地域連携事業	<p>やまびこ座夏まつり 地域の町内会や子ども会等と実行委員会を組織し、夏まつりを実施。</p>	8月6・7日 1回 2,073名
	<p>指導育成事業「砂川人形劇創作体験プログラム」 やまびこ座より、子どもの表現活動の指導者を砂川市地域交流センターに派遣し、団体と劇場の協働により人材発掘や育成を図った。</p>	9月12日～3月17日 全3回 397名

事業区分	事業内容	回数・時期・参加人数等
中島児童会館 協働事業	<p>中島児童会館協働事業 劇場と児童会館との協働により、2施設の特質を活かした事業を展開する。</p> <ul style="list-style-type: none"> * 「中島児童会館・こぐま座開館記念祭」 「読み語り入門講座」 「あそびの劇場《冬の陣》」他（全5事業） <p>中島児童会館・こぐま座歴史探訪 中島児童会館とこぐま座の歴史ある資料や物品等の展示。</p>	33回 1,356名
その他事業	<p>いいだ人形劇フェスタ 2011 上演参加事業 全国の人形劇団が一同に集まる国内最大級の人形劇の祭典に「こぐま座こども人形劇団」が上演参加し活動をPRした。</p> <p>※「企画展示」 「やまびこ座利用者懇談会」 「こぐま座利用者説明会」</p>	7月3日～31日 29日間 1,169名
		8月5～7日 3日間 18名
		11回 504名

■こどもの劇場「やまびこ座」

【利用状況】

区分	件数(件)	人数(人)	
ホール	763	28,654	室利用総人数
会議室	380	3,027	45,936
研修室	546	7,661	
美術工作室	569	6,594	
ロビー・展示室・図書コーナー	—	9,449	
研修・見学	—	480	
総利用	2,258	55,865	

※利用件数（前年度 2,159 件・前年度比 104.6%）

※利用人数（前年度 54,425 人・前年度比 102.6%）

■ こども人形劇場「こぐま座」

【利用状況（ホール利用内訳）】

観劇者数	無料(人)	1,381
	招待(人)	448
	有料(人)	9,323
	合計(人)	11,152
出演者の数(含むリハーサル)	…(b)	2,963
出演者観劇者総数	…(a+b)	14,115
研修・見学	…(c)	1,593
利用者総数	…(a+b+c)	15,708
上演回数(回)		218
上演日数(日)		148
仕込み・リハーサル・研修日数(日)		229
上演1回あたりの観劇者数(人)		51.2

※利用人数（前年度 15,451 人・前年度比 101.7%）

4. 契約に関する事項（契約金額1千万円以上）

（1）指定管理事業

単位：千円

契約の概要（業務名）	相手方	契約金額
札幌市児童会館及び札幌市こども人形劇場管理業務	札幌市長 上田文雄	2,121,078
札幌市こどもの劇場やまびこ座管理業務	札幌市長 上田文雄	42,600
札幌市若者支援施設管理業務	札幌市教育委員会委員長山中善夫	149,143
札幌市定山渓自然の村管理業務	札幌市教育委員会委員長山中善夫	76,375
札幌エルプラザ公共4施設管理業務	札幌市長 上田文雄	232,060
札幌市青少年山の家管理業務	札幌市教育委員会委員長山中善夫	122,730
札幌市北方自然教育園管理業務	札幌市教育委員会委員長山中善夫	28,108

（2）委託事業

単位：千円

契約の概要（業務名）	相手方	契約金額
札幌市ミニ児童会館管理運営業務	札幌市長 上田文雄	840,157
札幌市児童会館障がい児対応充実業務	札幌市長 上田文雄	77,091
札幌市児童会館中・高校生夜間利用等運営業務	札幌市長 上田文雄	86,058
緊急雇用創出推進事業補助金交付要綱に基づく児童会館等に関する安全・安心対策業務	札幌市長 上田文雄	48,856
さっぽろ若者サポートステーション事業	厚生労働省	22,590

5. こども基金（スマイルキッズ）協力者一覧

寄付金総額 1,082,120円

【法人】全4件

寄付者氏名	寄付額
アイビー・システム株式会社	30,000
株式会社ハビングループ	200,000
北海道オフィスマシン株式会社	50,000
リコハウス 株式会社三五工務店	50,000
合計	330,000

【団体】全22件

寄付者氏名	寄付額
人形劇団ぽっけ	10,000
人形劇団ばびぶ	10,000
新発寒ふれあい夏まつり実行委員会	10,000
札幌市西区保護司会	5,000
花園町内会	10,000
末広町内会	10,000
八軒中央連合町内会	5,000
若葉町内会	5,000
苗穂東民生委員児童委員協議会	10,000
里塚・美しが丘地区町内会連合会	5,000
東札幌共栄町内会	100,000
琴似連合町内会	5,000
美晴幼稚園	10,000
豊平区月寒まちづくりセンター	5,000
宮の沢中央町内会 他7件	106,120
合計	306,120

【個人】全27件

寄付者氏名	寄付額
個人寄付者	446,000
合計	446,000

III. 事務報告

1. 設立年月日 : 昭和 55 年 4 月 1 日

2. 寄附行為に定める目的

この法人は、主として札幌市の青少年女性を中心とするグループ活動の振興を図り、もって青少年の健全育成と青少年女性の社会参加の促進を図ることを目的とする。

3. 寄附行為に定める事業内容

- (1) グループ活動の指導業務
- (2) 指導者の養成及び登録派遣業務
- (3) グループ活動プログラムの企画立案についての相談業務
- (4) グループ活動に関する調査研究及び資料の発行業務
- (5) 福祉事業等に対するボランティア活動業務
- (6) 青少年女性関係諸施設の管理業務
- (7) その他前各号に掲げた業務に付帯する業務

4. 所管官庁に関する事項

北海道教育委員会（事務局：北海道総務部 行政改革局法人団体課）

5. 主たる事務所の状況

主たる事務所 : 札幌市西区宮の沢 1 条 1 丁目 1 番 10 号

6. 役員等に関する事項

(1) 理事会

理事長	小川 敏雄	(財) 札幌市青少年女性活動協会 理事長
副理事長	細川 昭一	(財) 札幌市生涯学習振興財団 副理事長
理事	忍 博次	北海道社会福祉協議会 副会長理事
理事	加藤 喜久子	北海道情報大学 教授
理事	佐々木 和宏	札幌青年会議所 元理事長
理事	佐藤 和子	札幌市女性団体連絡協議会 会長
理事	芝木 捷子	札幌市私立幼稚園 連合会会长
理事	高田 敏春	札幌商工会議所 常務理事
理事	谷 瞳子	北星学園大学 元教授
理事	杉岡 直人	北星学園大学 教授
監事	石原 聰	北海道経営者協会 事務局長
監事	阿曾 和紀	(財) さっぽろ健康スポーツ財団 常務理事

[平成 24 年 3 月 31 日現在 計 12 名]

平成 23 年度における理事会は、次のとおり 2 回開催した。

開催年月日	議事事項	会議の結果
平成 23 年 6 月 23 日	1 平成 22 年度事業報告 2 平成 22 年度収支決算報告 3 平成 23 年度収支予算の変更 4 評議員の選出 5 評議員選定委員の選任（変更） 6 最初の評議員候補者の選任（変更）	1 可決 2 可決 3 可決 4 可決 5 可決 6 可決
平成 24 年 3 月 16 日	1 平成 23 年度収支予算変更 2 平成 24 年度事業計画 3 平成 24 年度収支予算	1 可決 2 可決 3 可決

(2) 評議員会

評議員	瀧 上 春 男	北海道青少年育成協会 専務理事
評議員	石 垣 寿 枝	札幌市子ども会育成連合会 常務理事
評議員	菊 池 恒	札幌市商店街振興組合連合会 理事長
評議員	上 田 厚 子	札幌市母子寡婦福祉連合会 会長
評議員	川 端 美 樹	札幌市 PTA 協議会 副会長
評議員	粥 川 道 子	北翔大学 教授
評議員	小 林 元 治	札幌市民生委員児童委員協議会 理事
評議員	大 木 光 恵	NPO 法人ふろぐれっしょん 代表理事
評議員	相 馬 宏 哉	NPO 法人ネイチャープログラムデザイン 理事長
評議員	追 分 充	札幌市小学校長会会长

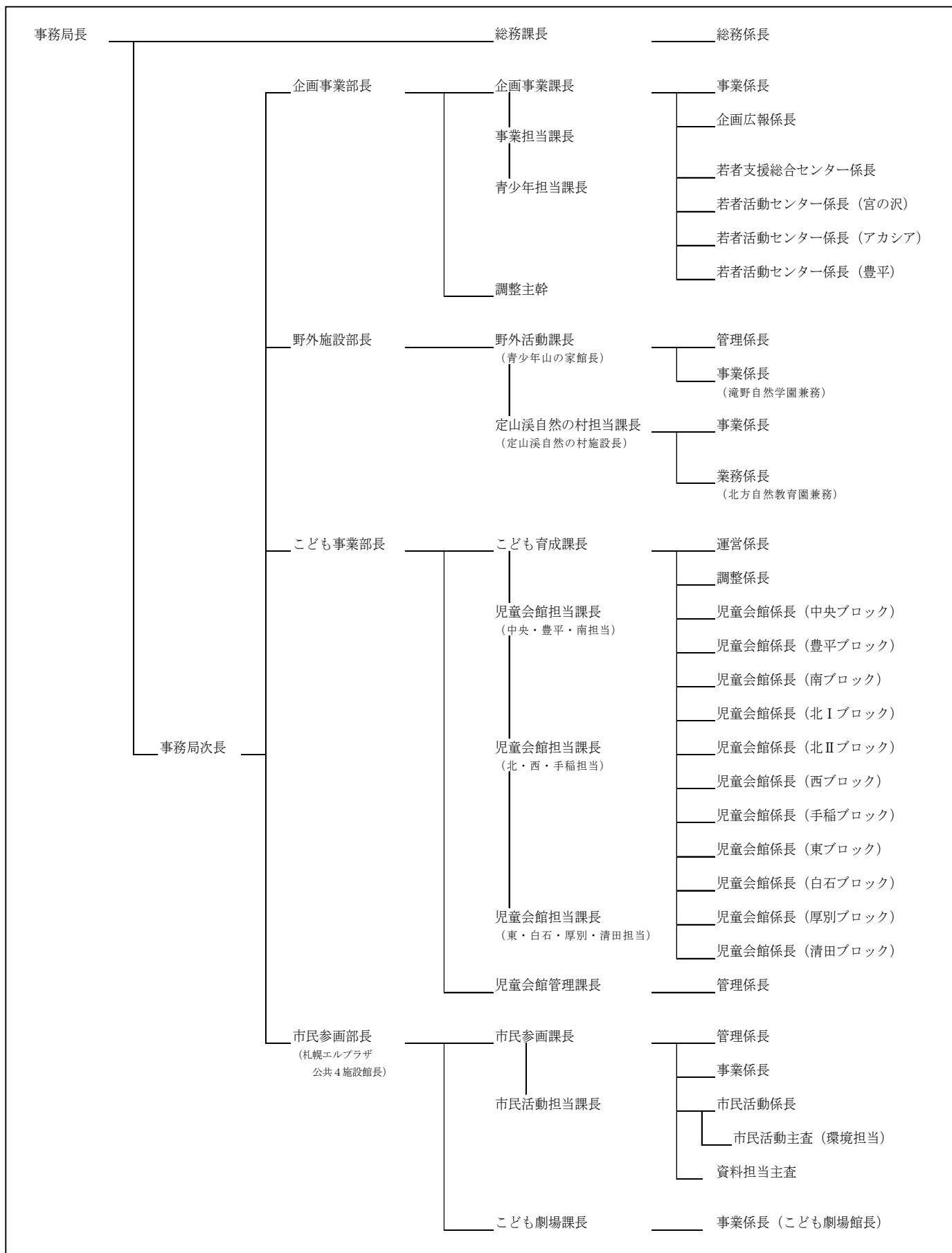
[平成 24 年 3 月 31 日現在 計 10 名]

平成 23 年度における評議員会は、次のとおり 2 回開催した。

開催年月日	議事事項	会議の結果
平成 23 年 6 月 23 日	1 平成 22 年度事業報告 2 平成 22 年度収支決算報告 3 平成 23 年度収支予算の変更	1 可決 2 可決 3 可決
平成 24 年 3 月 16 日	1 平成 23 年度収支予算変更 2 平成 24 年度事業計画 3 平成 24 年度収支予算	1 可決 2 可決 3 可決

7. 職員に関する事項（平成 23 年度末現在）

平成 24 年 3 月 31 日現在における事務局組織は次のとおりである。



(1) 主要な職員

役職名	氏名	採用年月日	担当職務
事務局長	齋藤 彰	平成 22 年 5 月 10 日	事務局の総括
事務局次長	大川 泰尚	昭和 55 年 4 月 1 日	事務局の総括
事務局次長	谷山 正司	平成 23 年 4 月 1 日	事務局の総括
こども事業部長	寺田 陽子	昭和 56 年 11 月 1 日	こども育成課・児童会館管理課業務の総括
市民参画部長	岩寄 義純	昭和 63 年 6 月 1 日	市民参画課・こども劇場課業務の総括
総務課長	生出 裕一	平成 3 年 3 月 1 日	総務・財務・労務・経理等の総括
企画事業課長	井崎 光男	昭和 61 年 4 月 1 日	企画事業課業務の総括
事業担当課長	石井 一彦	平成 2 年 4 月 1 日	自主事業の実施等総括等
青少年担当課長	穴澤 義晴	平成 2 年 4 月 1 日	若者支援施設の総括
調整主幹	大築 覚	平成 20 年 4 月 1 日	自主事業等に関する調整
野外活動課長	齋藤 隆仁	昭和 61 年 4 月 1 日	野外活動課・滝野自然学園の総括
定山渓自然の村担当課長	下川原 清貴	平成 2 年 4 月 1 日	定山渓自然の村の総括
こども育成課長	五十嵐 健二	平成 4 年 3 月 21 日	こども育成課の総括
児童会館担当課長	鈴木 佳代子	平成 2 年 4 月 1 日	児童会館（中央・豊平・南担当）
児童会館担当課長	松岡 節子	平成 1 年 12 月 1 日	児童会館（北・西・手稲担当）
児童会館担当課長	佐々木洋一郎	昭和 57 年 4 月 1 日	児童会館（東・白石・厚別・清田担当）
児童会館管理課長	志賀 和行	平成 1 年 12 月 1 日	児童会館の管理に関する総括
市民参画課長	岡本 峰子	平成 2 年 4 月 1 日	エルプラザ公共 4 施設業務の総括
市民活動担当課長	蓮井 潤子	平成 5 年 4 月 1 日	市民活動に関する調整

(2) 職員数

職員数合計 1,084 名

[事務局長・事務局次長]

札幌市OB	2名
-------	----

[主任指導員]

職員数	前期末比増減	平均年齢	平均勤続年数
男性 68名	1名増	42歳7ヵ月	15年1ヵ月
女性 84名	2名減	45歳6ヵ月	13年3ヵ月
合計又は平均 152名	1名減	44歳2ヵ月	14年0ヵ月

[その他]

専門指導員	72名	再任用職員	3名
指導員	385名	臨時職員	139名
再任用職員	5名	パートスタッフ	304名
パートスタッフ	22名		
常勤職員数 ①	484名	非常勤職員数 ②	446名
合 計 (①+②)			930名

8 会計に関する事項

公認会計士の関与の有無

監査契約締結（「独立監査人の監査報告書」：平成24年5月28日受理）

